

John Cage

100th Anniversary
Countdown Event
2007 - 2012



2008年11月29日(土) 15:00 開演 14:30 開場

主催 / John Cage Countdown Event 実行委員会

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

助成 / 社団法人 私的録音補償金管理協会 (sarah)

会場 / 京都芸術劇場 春秋座

John Cage 100th Anniversary Countdown Event 2007-2012

JCCE (John Cage Countdown Event 実行委員会) は、20世紀の芸術や文化に多大なる影響を与えた作曲家・故ジョン・ケージの音楽や思想をいま再考し、それぞれの活動にいかすべく有志が集い2007年に発足しました。JCCEは、2007年からケージの生誕100周年の年である2012年までの5年間、「John Cage 100th Anniversary Countdown Event 2007-2012」と題して、コンサートやワークショップなど様々ななかたちで企画・開催し、ケージが示した“聴く”という行為の創造性について思索していきたいと思います。第一回目のコンサートは国立国際美術館にて、『相互浸透』をテーマに「Song Books/solo for voice 3-92」(1969)を演奏しました。第二回目である今回のコンサートは《内と外》あるいは《領域と環境》をテーマに、劇場の舞台のみならず、その裏側やロビーなどでも演奏を展開します。曲目は以下のとおりです。

- 第一部 Rozart Mix (1965)、Variations III (1962)
- 第二部 Inlets (1977)
- 第三部 Variations IV (1963)、Winter Music (1957)、One 6 (1990)、Solo for Voice 2 (1960)、Sculptures Musicales (1989)
- 第四部 Suite for Toy Piano (1948)

ジョン・ケージ John Cage (作曲家・1912.09.05-1992.08.12)

アメリカ、ロサンゼルス生れ。ボノナ・カレッジを中退してパリへ遊学後、作曲家になることを決意する。アーノルド・シェーンベルク他に師事しつつ、最初期から独自の作曲法を探求する。また「あらゆる音」への関心から、様々な非楽器を取り入れた打楽器オーケストラの結成、それに匹敵する多彩な音響を一台のグランド・ピアノで実現するブリペード・ピアノの開発、電子音響の積極的導入などを進める。東洋思想への関心を深める中で、組織化されていない音に満たされた時空間を指す「沈黙」という独自の概念を発見。1950年に偶然性の全面的導入によるピアノ曲『易の音楽』、1952年には無音の楽曲『4分33秒』を発表。以後、チャンス・オペレーション、不確定性、図形楽譜、ライブ・エレクトロニクス、ミュージサーカス、等々、「沈黙」を起点とする様々な概念、方法、形式を提示。音楽のみならず版画、詩作、著述、講演から展覧会の展示構成にまで応用展開した。舞踊家マース・カニングハムとの「共存的」共同作業から多くの傑作が生まれた。

演奏者 ◎ Performers

稲垣貴士 INAGAKI Takashi

九州芸術工科大学音響設計学科卒業。修士課程で松本俊夫ゼミに在籍し、映像表現を学ぶ。在学中より松本俊夫、伊藤高志らの映像作品のサウンドを手がけ、自らも映像作品を作成。2004年に大阪成蹊大学芸術学部にて、図形楽譜等の展示、レクチャー、ワークショップ、コンサートで構成した「ジョン・ケージ」展を企画・開催。

竹村延和 TAKEMURA Nobukazu

作曲家/アーティスト。ドイツ在住。これまでトータス、マウスオンマーズ等との米国ツアーやZUとのEUツアーやWILCOやアイソトープのメンバーを率いての全英ツアー等、世界中のアートフェスティバルにて演奏を行う。作品はCM、TV、映画、ファッションショーなど多岐にわたり、昨今は音を超え、インスタレーション、映像、絵画、アニメーション製作も自ら行っている。

ニシジマ・アツシ NISHIJIMA Atsushi

80年代半ばよりライブ・エレクトロニック・ミュージックによる演奏を始める。その後、サウンド・オブジェやインスタレーションなどの制作も始め、「'94 [Citycircus]- Rolywholyover A Circus - John Cage / The New Museum of contemporary art <New York>」に出演するなど、現在も国内外の展覧会やイベントに多数参加し、“音”が持つ様々な側面から発想した作品制作・演奏を行っている。

Haco

作詩作曲家、歌手、エレクトロニクス奏者、プロデューサー。80年代に音響芸術を学び、After Dinnerを結成すると共に作品が国際的に評価される。近年、声と電子楽器による演奏に加え、音響装置を用いた独自のパフォーマンスを展開。これまでにソロやHoahio等のCD発売、海外のフェスティバル出演も多数。ダンス作品とのコラボレーションなど鋭い感性で活動範囲を広げている。

宮嶋哉行 MIYAJIMA Saikou

1962年名古屋生まれ。バイオリンやカリンなどを使い即興演奏をする。1999年『this-misa×saikou』を結成、2000年にはその音楽生活を追ったドキュメンタリー映画『風にさく』がスイス在住の茂木綾子監督によって制作され、ニヨンの映画祭で特別賞を受賞する。現在はソロ中心に活動。

村井啓哲 MURAI Keitetsu

90年代初期、P3 art and environmentでサウンド・インスタレーションと実験音楽、フリー・ミュージックに関する企画を担当した後、自身の活動を開始。音楽、美術などのジャンルを横断した作品を展開すると共に、ジョン・ケージの図形譜による非楽曲、フルクサスのアーティストによるイベント作品などの演奏/パフォーミングも行う。

森本ゆり MORIMOTO Yuri

ピアニスト。大阪音楽大学作曲専攻卒業後渡仏、クロード・エルフエ氏に師事。“Centre Acanthes”にて、ケセナキス立会いの下に行われた“Everyali”的演奏は、作曲家自身はもとよりLa Croix紙でも“特筆すべきピアニスト”と評される。ヴィルクローズ音楽アカデミーレジダント。Next Mushroom Promotion メンバー。

演奏協力：岸本昌也、瀧このみ、田渕早穂、福留敏晃、前田陽子、山田晃嗣、吉成詩帆 他

【日時】2008年11月29日(土) 14:30開場 15:00開演

【チケット】指定席 前売一般 2,500円 学生&ユース 1,500円 シニア 2,000円 *当日は各 500円増

*現代音楽シリーズ3公演通し券 前売・当日共 一般:4,000円 学生&ユース:2,000円

シリーズ1 「コンサート ジェネシスⅢ 京都発 世界へ」 2008年11月7日(金) 18:30開場 19:00開演

シリーズ2 「高橋悠治レクチャー・コンサート」 2008年11月15日(土) 13:30開場 14:00開演

【取り扱い】京都芸術劇場 チケットセンター → TEL: 075-791-8240 (平日10:00-17:00)

電子チケットぴあ → TEL: 0570-02-9999 http://pia.jp/t

John Cage Countdown Event [Pコード: 302-487] 現代音楽シリーズ3公演通し券 [Pコード: 782-163]

【会場】京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)

【企画・主催】John Cage Countdown Event 実行委員会 (JCCE)・京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

【お問い合わせ】JCCE 実行委員会 TEL: 080-6113-3782 jcce@excite.co.jp http://jcce.exblog.jp

【助成】社団法人 私的録音補償金管理協会 (sarah) 【協力】PRINZ

【制作】森真理子・五十川あき

★ 関連上映会(毎日19:00より上映開始) 会場: 京都造形芸術大学 映像ホール・入場無料・要予約
上映会のご予約は、京都芸術劇場チケットセンターまでご連絡ください。

10月17日 I Have Nothing to Say and I Am Saying It / by Allan Miller (1990)

10月24日 Cage & Cunningham / by Elliot Caplan (1991)

10月31日 Variations VII by John Cage : E.A.T. - 9 Evenings :

Theatre & Engineering / by Alfons Schilling (1966)

11月14日 4 American Composers : John Cage / by Peter Greenaway (1983)



アクセス

- JR「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分)
- 市営地下鉄「丸太町」「北大路」駅から
京都市バス204循環に乗り、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪電鉄「出町柳」駅から
叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分。
- 駐車場はございません。お車・バイクでのご来場はご遠慮ください。